

様式（第9条関係）

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	令和6年度第3回益田市立学校整備計画審議会
開催日時	令和6年12月17日(火)14:00~15:20
開催場所	益田市役所本庁3階 第一会議室
出席者	○出席者 [審議会委員] 高橋泰道会長、品川智成副会長、 阿部敦子委員、田中健人委員、豊田美絵委員、篠原千春委員、 村岡 宙委員、齋藤友法委員、宮内健臣委員、河上信男委員 [事務局] 教育部長 長嶺 勝良 教育総務課長 齋藤 勝義 教育総務課長補佐（学校再編整備推進室長） 植田 拓也 学校教育課長 田原 正紀 協働の人づくり推進課長 岡崎 健次 ○欠席者 [審議会委員] 野村浩巳委員
議題	1.開会 2.議題 (1) 前回における審議内容について (2) 諮問事項に対する答申（案）について (3) 計画策定に向けたスケジュール（案）について
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
問合せ先	教育部教育総務課 電話 0856-31-0441

審議経過

1.開会 ○挨拶	
2.議題 (1)前回における審議内容について（事務局から説明） (2)諮問事項に対する答申（案）について ア.実施計画のこれまでの取組に対する中間評価（小学校期）	
委員	・コミュニティスクールの好事例として挙げられた優れた取組の底力になっているのは、 公民館の力が大きいと思う。公民館が地域のコーディネート役を果たしている。 ・コミュニティ・スクールを立ち上げる際に、西益田地区、豊川地区において公民館機能が かなり有益に機能したと聞いている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の役割が大きいところ書かれていないので、公民館の職員さんが思いを持って取り組んでいるということを基盤にしながら、公民館運営の充実を明記していけると良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・西益田地区、豊川地区においては、公民館が窓口になりつつ、コーディネーターが地域と学校との間をつなぎながら、地域を盛り上げ、子供たちの学びの環境をつくっていると思う。 ・地域の中で、つろうて子育て協議会や公民館、保護者が子供たちのために関わっており、その働きが評価されていると思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校期におけるこれまでの取組みに対する中間評価の記載のところで、つろうて子育て協議会や公民館が行ってきた様々な取組について少し記載があると良いとの意見であった。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールと地域学校協働本部という地域側の受皿になっているものが一対、両輪になって地域経営や学校経営を支えていこうという試み。 ・学校側と地域側が同じ目標を描きながら進んでいくほうが、本部として今の益田ではつろうて子育て協議会というふうな名称をつけている。 ・立てつけの部分がどういったものなのかという説明をし、ここで書かれたものがどういった機能で動いているかというのが表現されるとより分かりやすいのか、その間をつなぐのがコーディネーターの役割ですし、その動きやすい環境をつくるのが公民館のバックヤードでの動きであるので、そこを付記できればと考える。
(2) 4.実施計画のこれまでの取組に対する中間評価（中学校期）	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小野中学校と高津中学校の統合に向けての時期で、一緒になって合同の学習を今回かしており、不安が徐々に安心感になっている。 ・戸田小を卒業すると高津中学校へ行くので、小学校の間でも交流学习を活発にさせていただき、今後も続けてもらいたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・中間評価ですので、交流活動は進んでいるけれど、回数が少ないということからさらに充実した取組を進めていく必要があるという書き方でできれば良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・真砂中学校が再編される時に、地域の不安解消というところでフィールドとして真砂を利用してほしいということを提案している。 ・その結果、6かるプロジェクトが展開され、中学生が夏休みの期間とか総合学習の時間に真砂に来て、真砂にあるリサイクルプラザなどを体験してくれるというような時間がありまして、その後、職場体験とかでも来てくれるとかという良好な関係が続いている。 ・このようなやり方は、ほかの中学校区ではあまりされていないと思う。 ・同じような仕掛け、仕組みを考えていくというのも1つであり、小野中学校と高津中学校のほうでも展開できるかもしれない。
事務局	<p>学校から聞き取った内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流学习によって、学校として生徒の様子が確認でき、実態把握ができた。 ・生徒から仲よくなれてよかったという感想があり、学校として生徒が喜んでいる声が聞けたということが非常によかった。 ・今後の展開として、生徒に今後の再編のイメージが湧いたのではないかといいところで、学校としても安心した。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・真砂中学校と益田東中学校の再編については、生徒が地域に出かける仕組みづくりが広がっていくと良いという意見、匹見小中学校については、この形でよかったという意見、小野中学校と高津中学校の再編については、交流学习等によるさらなる充実が必要と小学

	校同士の交流も必要であるという意見であった。
(2) ウ.今後の小・中学校の在り方に向けた進め方について (小学校全体)	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターは地域と学校をつなぐ大きな役割がある。子供が参加できるようなイベント、地域の方が参加できるようなイベントを企画してくれていた。現在、そのコーディネーターが不在のため、公民館職員がその役割を担っている状況がある。しかし、現実的に難しい状況。 ・コーディネーターの配置の充実をしっかりと検討していただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・中間評価でコミュニティ・スクールの数を増やしていくことやコーディネーターの配置の充実だけでなく、つろうての子育て協議会や公民館の機能充実等も加えていけると良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育、地域づくり、人づくりについて、現状の施策でも不足はないと感じているが、人口減少の中、現状維持では後退していく可能性があるため、公民館の強化やコーディネーターの配置についてより一層の強化を進めていただきたい。 ・コーディネーターの存在によって、学校の先生が地域でやりたいと思っていること、地域が学校とやりたいと思っていること、子供がやりたいと思っていることが実現できる。 ・みんなのやりたいを実現できるのがコーディネーターの役目だと思っており、どんどん充実してほしい。
(2) エ.今後の小・中学校の在り方に向けた進め方について (中学校全体)	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校のところでは、地域づくりとか人づくりのことが書いてあるが、中学校のところでは統合であるとか人数減少のことだけの様な感じがしている。 ・検討した学校は個別に記載してあり、全体的なことは基本指針のほうに書いてあるので、省略されているのかもしれませんが、中学校の生徒たちも地域活動とか地域づくりは結果として必要になってくると思うので、益田市全域として、その辺の要素の記載がある方が良い。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・確かに小学校は地域づくり人づくりに言及した形でまとめられているが、中学校は再編を中心に書かれている。 ・益田市全体の中での中学校の支援の在り方について記載があると良い。
(3) 計画策定に向けたスケジュール (案) について	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・最終的な答申書の調整については会長及び副会長にご一任いただきたい。
委員一同	<ul style="list-style-type: none"> ・了承